

麻しん（はしか）の患者の発生について

令和元年5月16日（木）、川崎市内の病院から麻しんの届出があり、川崎市健康安全研究所で遺伝子検査を実施したところ、5月17日（金）、麻しんウイルスが陽性であることが判明しました。不特定多数の方と接触した可能性があることからお知らせいたします。なお、川崎市では今年6例目の麻しん発生届（検査診断例）となります。

【感染性のある期間に利用した公共交通機関】

5月6日（月）～5月10日（金）

午前8時50分頃（東急東横線）綱島駅乗車 →（東京メトロ副都心線）新宿三丁目駅下車
午後11時10分頃（東京メトロ副都心線）新宿三丁目駅乗車 →（東急東横線）綱島駅下車

- ※ 公共交通機関を同じ時間帯に利用された方で、利用後10日前後経ってから、麻しんを疑う症状が出た場合は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。
- ※ 受診の際は、周囲の方に感染させないように、公共交通機関の利用を避けてください。

【患者情報】

30歳代 男性 ワクチン接種歴不明 海外渡航歴なし

【患者確定までの経過等】

5月6日（月）発症日 発熱

9日（木）発疹出現

16日（木）届出医療機関から発生届（麻しん 臨床診断例）

医療機関にて麻しんIgM抗体検査実施 *IgM抗体検査は実施中です。

17日（金）市健康安全研究所の遺伝子検査の結果：麻しんウイルス陽性（遺伝子型B3）

【市民の皆様へ】

- ・麻しんの感染力は非常に強いと言われています。（症状等は別添リーフレットを御参照下さい）
- ・麻しんの効果的な予防方法は、ワクチンの接種です。
- ・海外では麻しんが流行している地域があります。麻しんの免疫を十分に保有していない場合は、連休を海外の流行地で過ごした後、潜伏期間（平均10～12日）を経て発病する可能性がありますので、御注意ください。

報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づき、患者及び患者家族等については、本人等が特定されることがないように、格段の御配慮をお願いします。

担当

川崎市健康福祉局保健所感染症対策課 小泉
電話：044-200-2446